

令和6年度事業報告書

1. 会 員

1) 法人・団体会員

本年度入会	3 社	カーギルジャパン合同会社, 日立エナジージャパン株式会社, ライオン・スペシャリティ・ケミカルズ株式会社
本年度退会	2 社	ゼネラル・エレクトリック・インターナショナル・インク NEC マグナスコミュニケーションズ株式会社
本年度末会員数	1 0 3 法人・団体	(総会議案参考資料のとおり)

2) 個人会員

本年度入会	3 名
本年度退会	1 名
本年度末会員数	9 7 名

2. 役員、顧問等

1) 理 事

本年度就任	3 名	近藤 史郎, 森平 英也, 藤田 和久
本年度退任	3 名	伊藤 雅彦, 島田 太郎, 添木 真也
本年度末人数	1 4 名	(総会議案参考資料のとおり)

2) 監 事

本年度就任	0 名	
本年度退任	0 名	
本年度末人数	2 名	(総会議案参考資料のとおり)

3) 顧 問

本年度就任	0 名	
本年度退任	0 名	
本年度末人数	4 名	(総会議案参考資料のとおり)

4) 幹 事

本年度就任	2 名	鈴木 千秋, 南波 俊文
本年度退任	2 名	遠藤 智志, 中津 智夫
本年度末人数	4 名	(総会議案参考資料のとおり)

3. 会 議

1) 総 会

本年度開催回数 2回

第85回通常総会を令和6年6月3日に開催

第1回臨時総会を令和6年7月25日に開催

2) 理 事 会

本年度開催回数 7回 第747回～第753回

4. 定 款

平成24年4月1日 一般社団法人電気協同研究会の定款登記

5. 専 門 委 員 会

1) 委 員 会

本年度終了 3委員会

①自然災害時の配電設備における復旧対応の高度化専門委員会

②デジタル変電所の監視制御・保護リレーシステム監視高度化専門委員会

③電力保安用通信機械室効率設計専門委員会

昨年度から継続中 5委員会

①電力系統用パワーエレクトロニクス設備の保全ガイドライン専門委員会

②水力発電所機器専門委員会(水車・ポンプ水車および付属装置の工場検査基準)

③配電設備の保安および工事の高度化・省力化専門委員会

④地中送電設備の施工技術に関する現状と今後の展望専門委員会

⑤架空送電用ポリマーがいし技術専門委員会

本年度設置 3委員会

①再生可能エネルギー電源の導入拡大等の環境変化に伴う保護・制御システムの課題と対策検討専門委員会

②電力用通信システム監視高度化専門委員会

③変電所への環境配慮機器の導入検討専門委員会

2) 委 員 数

専門委員会 242名

幹事会・作業会等 337名

3) 会議開催回数

専門委員会 14回

幹事会・作業会等 84回

6. 研究討論会

テーマ	「ロボティクスの動向と社会インフラ事業における未来像」
実施方法	会場参加と録画の Web 配信（予約視聴）
開催日時	令和6年11月8日（金）13：00～17：00
場所	ブリーゼプラザ7F小ホール（大阪府大阪市北区梅田2-4-9）
配信期間	令和6年12月2日（月）～12月27日（金）
司会	野田 琢 氏（（一財）電力中央研究所グリッドイノベーション研究本部副参事）
基調講演	磯野 慎治 氏（日本アイ・ビー・エム（株）通信・メディア・公益事業部 公益デジタルソリューション 部長）
講演	金岡博士 （（株）人機一体 代表取締役社長 兼 立命館大学 総合科学技術研究機構ロボティクス研究センター 客員教授） 足立 浩一 氏（グリッドスカイウエイ有限責任事業組合 チーフエグゼクティブオフィサー） 多葉井 宏 氏（建設 RX コンソーシアム 運営委員長（株）竹中工務店 技術研究所 未来・先端研究部 主席研究員） 一木 将人 氏（関西電力送配（株）電力システム技術センター 副所長）

パネルディスカッション

テーマ：「社会インフラの維持・構築へのロボティクス活用に向けた課題と展望」

コーディネーター：野田 琢 氏

パネラー：各講演者

会場参加者：124名（内有料入場者84名）

配信視聴者：201名（内有料配信155名）

討論会概要

近年、ロボットや生成 AI に関するデジタル技術は飛躍的に進展しており、2024年元日の能登半島地震ではドローンや四足歩行型ロボットが被災地支援に貢献するなど活躍の場を拓けています。我が国においても、2023年度からデジタルライフライン全国総合整備実現会議が開催され、官民一体の取組みによりさらなる社会実装が期待されています。

一方、社会インフラ事業においては、人材の不足や設備の高経年化、災害の激甚化といった課題が顕在化している中、現場作業の自動化や安全な作業環境の構築を見据え、ロボティクス活用への期待が高まりつつあります。ヒトとロボットの協働を実現するためには、ありたい未来像を描き、その実現に至る道筋を明らかにしておくことが重要となります。

そこで、「ロボティクスの動向と社会インフラ事業における未来像」と題し、各分野でのロボティクスの活用事例を紹介するとともに、社会インフラ事業にもたらす可能性やありたい未来像を実現するためのアプローチについて意見交換を行いました。

7. 刊 行 物（『電気協同研究』の発刊）

発 刊 数 4 号

- ① 第80巻第1号 「デジタル変電所の監視制御・保護リレーシステム」
令和6年6月発刊、 170頁、850部印刷
- ② 第80巻第2号 「自然災害時の配電設備における復旧対応の高度化」
令和6年10月発刊、 132頁、485部印刷
- ③ 第80巻第3号 「電力保安用通信機械室の効率設計」
令和7年2月発刊、 158頁、470部印刷
- ④ 第80巻第4号 「ロボティクスの動向と社会インフラ事業における未来像」
令和7年3月発刊、 89頁、410部印刷

8. 講 習 会

- ① 「デジタル変電所の監視制御・保護リレーシステム」講習会
開催日時 令和6年7月19日(金) 13時30分～17時00分
場 所 CIVI 研修センター 日本橋（東京都中央区日本橋室町 4-1-6）
テキスト 第80巻第1号「デジタル変電所の監視制御・保護リレーシステム」
受 講 者 91名
- ② 「自然災害時の配電設備における復旧対応の高度化」講習会
開催日時 令和6年12月6日(金) 14時00分～16時45分
場 所 CIVI 研修センター 日本橋（東京都中央区日本橋室町 4-1-6）
テキスト 第80巻第2号「自然災害時の配電設備における復旧対応の高度化」
受 講 者 16名
- ③ 「電力保安用通信機械室の効率設計」講習会
開催日時 令和7年2月28日(金) 14時00分～16時35分
場 所 CIVI 研修センター 日本橋（東京都中央区日本橋室町 4-1-6）
テキスト 第80巻第3号「電力保安用通信機械室の効率設計」
受 講 者 37名

以 上